

## 令和8年1月20日 放課後等デイサービスかなで 職員研修⑤

放課後等デイサービスかなで 職員研修⑤(最終回)

福岡市南区鶴田にある「放課後等デイサービスかなで」さんの職員研修の講師をさせて頂きました。

「放課後等デイサービスかなで」さんは、「障がいを持つ子ども達の役に立ちたい、そして少しでもそのご家族の助けとなり、子ども達だけでなく、お父さん、お母さん、きょうだい児のご家庭での笑顔が増えるような支援をしたい」との思いのもと、「一緒に考え、一緒になやみ、一緒にできる力を育てる支援」を日々行っているらしいです。

5回シリーズで職員研修を担当させて頂きました。

最終回の第5回目は、

**「自分の評価されている点」「自分の苦手なことに対する理解と対応」**の2つテーマをそれぞれ前半と後半に分けてグループワークを行いました。

前半の「自分の評価されている点」をテーマにしたグループワークでは、研修に参加した自分以外の職員全員に対して一人ずつ評価できる点を付箋に書いて相手に渡して行きました。普段職員同士でほめ合う機会は少なく、自分の評価されている点が記入されたたくさんの付箋を目にすると皆さん一様に照れたり驚いたりしていました！(笑)

付箋の記入された内容は、例えば、

- **子どもたちに好かれている！**
- **居てくれるだけで安心する！**
- **児童対応がとても上手！**
- **運転が丁寧！**
- **まとめる力がある！**
- **仕事が早い！**
- **返事が素晴らしい！**
- **頼りがいがある！**

等等。

周りから評価されている点は、自分も普段から意識して取り組んでいることだったり全く意識しておらず意外なことだったり様々なポイントが反映されます。しかし、一つ言えることは、他者からの評価は全て本当だということです！だからこそ、自分が周りから評価されている点を否定せず素直に受け入れ自分の強みにしていくことがより良い支援に繋がっていきます！

また、相手の良い所を見つける視点は、子どもたちへの関わりにおいても大きな力を発揮します！しかし、人間とは、評価される得意な面もあれば、大人になっても悩みの種となる苦手な面も同時に持ち合わせているものです。

そこで、後半のグループワークでは、自分が苦手とする業務をお互い素直に話し、職員全員で共有して行きました。

全員で共有することで、職員の孤立を防ぎ、お互いがネガティブな感情を抱くことなく、前向きな気持ちで助け合う関係性を構築することができます！

今回の研修では、お互いの得意な面と苦手な面をたっぷり話し合い共有して行きました。**職員である大人側が一方向的で狭い視点で否定し合うのではなく、お互いの長所と短所を理解して前向きに協力して生きていく姿を子どもたちに見せることが何よりも効果的な関わりになります！**

今回の研修の中でも「かなで」の職員の皆さん全員が、子どもたちの為、そして日々の支援をより良いものにする為に楽しく真剣に研修に参加されていました！

